

## 平成 29・30 年度 国民体育大会委員会 委員名簿

2018. 6. 14 現在

| No | 役職名    | 氏 名     | 本会役職等 | 所属団体等                              | 検討小委員会 |
|----|--------|---------|-------|------------------------------------|--------|
| 1  | 委員長    | 大野 敬三   | 理 事   | 千葉県体育協会                            | ○      |
| 2  | 副委員長   | 菊 幸一    | 学識経験者 | 筑波大学                               | ○      |
| 3  | 副委員長   | 鈴木 浩二   | 学識経験者 | 日本水泳連盟                             | ○      |
| 4  | 委 員    | 飯坂 尚登   | 学識経験者 | 秋田県・秋田県体育協会                        | ○      |
| 5  | 委 員    | 今井 純子   | 理 事   | 日本サッカー協会                           |        |
| 6  | 委 員    | 池田 めぐみ  | 学識経験者 | 山形県体育協会                            |        |
| 7  | 委 員    | 川原 貴    | 学識経験者 | スポーツ医・科学専門委員会委員長                   | ○      |
| 8  | 委 員    | 坂井 利郎   | 評 議 員 | 日本テニス協会                            | ○      |
| 9  | 委 員    | 三戸 一嘉   | 評 議 員 | 埼玉県体育協会                            | ○      |
| 10 | 委 員    | 柴田 益孝   | 評 議 員 | 岐阜県体育協会                            | ○      |
| 11 | 委 員    | 菅原 哲朗   | 学識経験者 | 弁護士                                | ○      |
| 12 | 委 員    | 高橋 有紀子  | 学識経験者 | ケイ・ブロス                             |        |
| 13 | 委 員    | 友永 義治   | 評 議 員 | 日本陸上競技連盟                           | ○      |
| 14 | 委 員    | 松田 基子   | 学識経験者 | 大阪体育大学                             |        |
| 15 | 委 員    | 松永 敬子   | 学識経験者 | 龍谷大学                               | ○      |
| 16 | 委 員    | 松丸 喜一郎  | 学識経験者 | 日本オリンピック委員会<br>日本ライフル射撃協会          |        |
| 17 | 委 員    | 山本 浩    | 学識経験者 | 法政大学                               | ○      |
| 18 | 委 員    | 横田 匡俊   | 学識経験者 | 日本体育大学                             | ○      |
| 19 | 委 員    | 大塚 和弘   | 学識経験者 | 全国都道府県体育・スポーツ・保健・給食主幹課長協議会<br>神奈川県 |        |
| 20 | 委 員    | 国久 敏弘   | 開 催 県 | 福井県国体推進局                           |        |
| 21 | 委 員    | 丹羽 治夫   | 開 催 県 | 福井県スポーツ協会                          |        |
| 22 | 委 員    | 若原 匡    | 開 催 県 | 北海道環境生活部文化・スポーツ担当局                 |        |
| 23 | 委 員    | 石田 奈緒子  | 開 催 県 | 茨城県国体・障害者スポーツ大会局                   |        |
| 24 | 委 員    | 根本 聡    | 開 催 県 | 茨城県体育協会                            |        |
| 25 | 委 員    | 相坂 譲    | 開 催 県 | 青森県教育庁スポーツ健康課                      |        |
| 26 | 委 員    | 米山 隆    | 開 催 県 | 富山県総合政策局スポーツ振興課                    |        |
| 27 | 委 員    | 中堂 蘭 哲郎 | 開 催 県 | 鹿児島県国体・全国障害者スポーツ大会局                |        |
| 28 | 委 員    | 坂口 純弘   | 開 催 県 | 鹿児島県体育協会                           |        |
| 29 | 委 員    | 近本 彰    | 開 催 県 | 岐阜県清流の国推進部地域スポーツ課                  |        |
| 30 | 委 員    | 齊藤 譲    | 開 催 県 | 秋田県体育協会                            |        |
| 31 | オブザーバー | 関 伸夫    |       | スポーツ庁競技スポーツ課                       | ○      |

# 第73回国民体育大会(福井県)実施競技における トップアスリート特例対象選手一覧

平成30年6月14日現在

| No. | 競技名        | 対象区分    |   |   |   | 第73回大会<br>対象者数 | 開催基準要項<br>参加人員(参考) | 第72回大会<br>対象者数 |
|-----|------------|---------|---|---|---|----------------|--------------------|----------------|
|     |            | ①       | ② | ③ | ④ |                |                    |                |
| 1   | 陸上競技       | ○       | ○ | ○ | ○ | 254 名          | 1,457 名以内          | 261 名          |
| 2   | 水泳         | ○       |   | ○ | ○ | 207 名          | 1,725 名以内          | 194 名          |
| 3   | サッカー       | 【対象者なし】 |   |   |   | —              | 920 名              | 【対象者なし】        |
| 4   | テニス        | ○       | ○ | ○ | ○ | 38 名           | 410 名              | 29 名           |
| 5   | ボート        | ○       | ○ |   | ○ | 17 名           | 896 名              | 20 名           |
| 6   | ホッケー       |         | ○ |   |   | 62 名           | 560 名              | 【対象者なし】        |
| 7   | ボクシング      | 【対象者なし】 |   |   |   | —              | 343 名              | 【対象者なし】        |
| 8   | バレーボール     |         | ○ | ○ | ○ | 84 名           | 1,040 名            | 85 名           |
| 9   | 体操         |         |   |   | ○ | 30 名           | 654 名              | 24 名           |
| 10  | バスケットボール   | ○       | ○ |   |   | 41 名           | 1,032 名            | 【対象者なし】        |
| 11  | レスリング      | 【対象者なし】 |   |   |   | —              | 752 名              | 【対象者なし】        |
| 12  | セーリング      | ○       | ○ |   | ○ | 37 名           | 703 名以内            | 36 名           |
| 13  | ウエイトリフティング | ○       | ○ |   | ○ | 22 名           | 383 名              | 24 名           |
| 14  | ハンドボール     | 【対象者なし】 |   |   |   | —              | 910 名              | 【対象者なし】        |
| 15  | 自転車        |         |   |   | ○ | 42 名           | 611 名              | 49 名           |
| 16  | ソフトテニス     | 【対象者なし】 |   |   |   | —              | 648 名              | 【対象者なし】        |
| 17  | 卓球         | ○       | ○ | ○ | ○ | 34 名           | 460 名              | 34 名           |
| 18  | 軟式野球       | 【対象者なし】 |   |   |   | —              | 512 名              | 【対象者なし】        |
| 19  | 相撲         | 【対象者なし】 |   |   |   | —              | 470 名              | 【対象者なし】        |
| 20  | 馬術         | 【対象者なし】 |   |   |   | —              | 339 名              | 【対象者なし】        |
| 21  | フェンシング     | ○       | ○ | ○ | ○ | 62 名           | 339 名              | 64 名           |
| 22  | 柔道         |         |   |   | ○ | 120 名          | 526 名              | 117 名          |
| 23  | ソフトボール     |         | ○ |   |   | 25 名           | 715 名              | 29 名           |
| 24  | バドミントン     |         |   |   | ○ | 58 名           | 444 名              | 51 名           |
| 25  | 弓道         | 【対象者なし】 |   |   |   | —              | 314 名              | 【対象者なし】        |
| 26  | ライフル射撃     | ○       | ○ |   |   | 42 名           | 428 名              | 39 名           |
| 27  | 剣道         | 【対象者なし】 |   |   |   | —              | 475 名              | 【対象者なし】        |
| 28  | ラグビーフットボール | 【対象者なし】 |   |   |   | —              | 646 名              | 【対象者なし】        |
| 29  | 山岳         |         |   |   | ○ | 44 名           | 309 名              | 57 名           |
| 30  | カヌー        |         |   |   | ○ | 76 名           | 453 名              | 54 名           |
| 31  | アーチェリー     | ○       | ○ |   | ○ | 16 名           | 280 名              | 16 名           |
| 32  | 空手道        |         | ○ |   | ○ | 53 名           | 414 名以内            | 67 名           |
| 33  | クレール射撃     |         | ○ |   | ○ | 12 名           | 237 名              | 12 名           |
| 34  | なぎなた       | 【対象者なし】 |   |   |   | —              | 314 名              | 【対象者なし】        |
| 35  | ボウリング      |         |   |   | ○ | 22 名           | 401 名              | 22 名           |
| 36  | ゴルフ        |         |   | ○ | ○ | 20 名           | 441 名              | 23 名           |
| 37  | トライアスロン    |         |   |   | ○ | 14 名           | 282 名              | 4名(71回大会)      |
|     |            | 対象者総計   |   |   |   | 1,432 名        | 21,843 名           | 1,311 名        |

対象区分:①リオデジャネイロオリンピック競技大会参加者、②JOCオリンピック強化指定選手  
③国内ランキング上位者、④中央競技団体強化指定選手

## トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

### 1. 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- 1) 大会開催の直前に開催されたオリンピック競技大会（冬季競技はオリンピック冬季競技大会）に参加した者。
- 2) 大会開催年の4月30日（冬季大会は前年10月31日）時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者。
  - (1) JOC オリンピック強化指定選手
  - (2) 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者
  - (3) 中央競技団体が定めた強化指定選手

※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

### 2. 特例の内容

#### 1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会及びブロック大会を経ずに国民体育大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手又はチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

#### 2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」又は「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

##### (1) 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

- ① 当該大会開催年の4月30日以前（冬季大会はこの前年同日）から大会終了時まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

1. 自ら所有する住居、又は自らの名義で住居を賃借していること
2. 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
3. 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
4. 当該住居に主要な家財道具が存すること

- ② 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

(2) 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- ① 当該大会開催年の4月30日以前（冬季大会はこの前年同日）から大会終了時まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。
- ② 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3. 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民体育大会開催基準要項細則第3項-(1)-(1)-③の通りとする。

4. 特例の適用に係る手続き

- 1) 正式競技実施中央競技団体は、当該大会開催年の4月30日（冬季大会は前年10月31日）現在における「1. 特例の対象となる選手」の氏名等を別に定める様式により、公益財団法人日本スポーツ協会宛に提出する。
- 2) 公益財団法人日本スポーツ協会は、「国民体育大会参加申込システム」内にて、特例対象選手一覧を公表する。
- 3) 参加都道府県体育(スポーツ)協会は本特例活用者を別に定める様式により、当該大会実施要項で定めた参加申込み締切り期日までに、公益財団法人日本スポーツ協会宛に提出する。

5. その他

本特例に定めのない事項については、必要に応じ国民体育大会委員会において協議するものとする。

附則

本特例は、平成23年12月15日に制定し、第67回本大会より施行する。

本特例は、平成26年5月15日に改定し、第69回本大会より施行する。

本特例は、平成29年6月16日に改定し、第73回より施行する。

本特例は、平成30年4月1日に改定し、同日より施行する。

## 第73回国民体育大会(福井県) 組合せ抽選会日程

平成30年6月14日

| No. | 競技名            | 開催場所                      | 期日      | 開始時間  |
|-----|----------------|---------------------------|---------|-------|
| 1   | 陸上競技           | 福井県営陸上競技場 【福井県福井市】        | 抽選会なし   |       |
| 2   | 水泳(水球)         | 岸記念体育会館                   | 8/27(月) | 10:00 |
| 3   | 水泳(アーティスティック)  | 金沢勤労者プラザ 【石川県金沢市】         | 9/9(日)  | 15:00 |
| 4   | 水泳(OWS)        | リブラ若狭 【福井県三方上中郡】          | 9/11(火) | 15:00 |
| 5   | サッカー           | 日本サッカー協会事務局 【東京都文京区】      | 9/6(木)  | 14:00 |
| 6   | テニス            | 岸記念体育会館                   | 9/7(金)  | 14:00 |
| 7   | ボート            | 岸記念体育会館                   | 8/27(月) | 13:00 |
| 8   | ホッケー           | 岸記念体育会館                   | 9/7(金)  | 11:00 |
| 9   | ボクシング          | 福井県産業会館 【福井県福井市】          | 10/3(水) | 15:00 |
| 10  | バレーボール         | 小浜市働く婦人の家 【福井県小浜市】        | 9/9(日)  | 13:00 |
| 11  | バレーボール(ビーチバレー) | 日本バレーボール協会事務局 【東京都渋谷区】    | 8/25(土) | 13:00 |
| 12  | 体操             | 岸記念体育会館                   | 9/8(土)  | 14:00 |
| 13  | バスケットボール       | 日本バスケットボール協会事務局 【東京都文京区】  | 9/10(月) | 10:00 |
| 14  | レスリング          | 岸記念体育会館                   | 8/28(火) | 11:00 |
| 15  | セーリング          | —                         | 抽選会なし   |       |
| 16  | ウエイトリフティング     | 岸記念体育会館                   | 9/10(月) | 15:00 |
| 17  | ハンドボール         | 日本ハンドボール協会事務局 【東京都新宿区】    | 8/26(日) | 14:00 |
| 18  | 自転車            | —                         | 抽選会なし   |       |
| 19  | ソフトテニス         | 日本ソフトテニス連盟事務局 【東京都品川区】    | 9/10(月) | 13:00 |
| 20  | 卓球             | 岸記念体育会館                   | 9/8(土)  | 14:00 |
| 21  | 軟式野球           | 全日本軟式野球連盟事務局 【東京都渋谷区】     | 9/6(木)  | 14:00 |
| 22  | 相撲             | 日本相撲連盟事務局 【東京都新宿区】        | 8/27(月) | 14:00 |
| 23  | 馬術             | 馬事畜産会館 【東京都中央区】           | 9/7(金)  | 13:30 |
| 24  | フェンシング         | 岸記念体育会館                   | 9/9(日)  | 13:30 |
| 25  | 柔道             | 全日本柔道連盟分室 【東京都文京区】        | 9/11(火) | 14:00 |
| 26  | ソフトボール         | 岸記念体育会館                   | 9/8(土)  | 10:00 |
| 27  | バドミントン         | 岸記念体育会館                   | 9/7(金)  | 13:00 |
| 28  | 弓道             | 岸記念体育会館                   | 9/10(月) | 14:00 |
| 29  | ライフル射撃         | 岸記念体育会館                   | 9/10(月) | 15:00 |
| 30  | 剣道             | 全日本剣道連盟九段事務所 【東京都千代田区】    | 9/7(金)  | 15:00 |
| 31  | ラグビーフットボール     | 日本ラグビーフットボール協会事務局 【東京都港区】 | 9/8(土)  | 13:00 |
| 32  | 山岳・スポーツクライミング  | 岸記念体育会館                   | 9/9(日)  | 13:00 |
| 33  | カヌー            | 岸記念体育会館                   | 8/27(月) | 14:00 |
| 34  | アーチェリー         | 岸記念体育会館                   | 9/9(日)  | 11:00 |
| 35  | 空手道            | 日本空手道会館 【東京都江東区】          | 9/10(月) | 13:30 |
| 36  | クレー射撃          | 岸記念体育会館                   | 8/27(月) | 13:00 |
| 37  | なぎなた           | 全日本なぎなた連盟事務局 【兵庫県伊丹市】     | 9/7(金)  | 13:00 |
| 38  | ボウリング          | 岸記念体育会館                   | 8/28(火) | 11:00 |
| 39  | ゴルフ            | 日本ゴルフ協会事務局 【東京都中央区】       | 8/27(月) | 13:00 |
| 40  | トライアスロン        | —                         | 抽選会なし   |       |

## 公式記念メダル

1. 名称：第 73 回 国民体育大会記念（福井県）公式記念メダル
2. 協力：公益財団法人 日本スポーツ協会
3. 製造・発売：松本徽章工業株式会社
4. 規格及び価格（消費税込）：予定

【超限定版】純金製＜直径 50 mm＞…………… 1,080,000 円

A. 純金製＜直径 28 mm＞…………… 172,800 円

B. 純銀製＜直径 50 mm＞…………… 16,200 円

C. 純金、純銀 2 点セット（A+B）…………… 189,000 円

〔いずれも造幣局品位検定極印入り〕



- ◆ 規格及び価格については、発売日近辺の国際金価格等の情勢を鑑みて確定する。

※デザインについては、変更の可能性あり。

5. 販売期間：本大会 2 ヶ月前 8 月より、30 年度末までを予定
6. 販売方法：新聞広告、新聞折込チラシ、E C サイト等による通信販売方式
7. 宣伝広告：新聞広告、新聞折込チラシ、また松本徽章工業株式会社メダルコレクター会員に P R する。
8. 過去の実績：
  - 第 30 回大会（三重県）…公式記念メダル、小判、金杯
  - 第 30 回冬季大会（スケート）…公式記念メダル
  - 第 30 回冬季大会（スキー）…公式記念小判
  - 第 31 回冬季大会…公式記念メダル
  - 第 32 回大会（青森県）…公式記念メダル、金杯・銀杯、小判
  - 第 33 回大会（長野県）…公式記念メダル、楯、小判
  - 第 56 回～第 72 回大会…公式記念メダル

## 第 73 回国民体育大会（福井県）における 記念切手（日本郵便ふるさと切手）の発行について

### 1. 発行概要

- 名 称：ふるさと切手「第 73 回国民体育大会」
- 発行日：平成 30（2018）年 8 月 29 日（水）
- 種 類：82 円郵便切手
- シート構成：参考（第 72 回国民体育大会）



### 2. 都道府県体育・スポーツ協会、中央競技団体に対するお願い

- 国体記念切手売り上げ増に向けた取り組みへのご協力  
加盟団体に対するアナウンス、郵便送付時のご利用 等

## 第73回国民体育大会(福井県)の各競技会場におけるイベント事業について

平成30年6月14日現在

|   | 競技名        | 種目名           | 実施内容                                                                  | 実施日時                                       | 実施会場                             | 参加者・対象者                                                         |
|---|------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 1 | 水泳         | 水球            | 「全国女子水球都道府県対抗戦」<br>各ブロックからの代表12チームによる競技                               | 9月12日(水)～13日(木)                            | 金沢プール(石川県金沢市)                    | 成年・少年共通(中学3学年以上)<br>・1チーム選手11名以下、監督1名、コーチ2名以下<br>・12チーム 合計:168名 |
| 2 | テニス        |               | 「TENNIS PLAY&STAY」<br>テニス未経験者のジュニア(5～10歳)に対し、プレイ&ステイのボールを利用しテニスに触れ合う。 | 9月29日(土)<br>午前(10:00スタート)、午後(13:00スタート)計2回 | 福井市わかばテニスコート(国体時<br>成年種別会場)      | 子ども(5歳～10歳)1回:40名程度                                             |
| 3 | ホッケー       |               | 「試合中におけるルールを中心にした解説」                                                  | 10月4日(木)～8日(月)5日間<br>1日2試合程度               | 越前町朝日総合運動場<br>福井県立ホッケー場          | ホッケー観戦者(500名程度)                                                 |
| 4 | バレーボール     | ビーチバレー<br>ボール | ジャパンビーチバレーボールツアー2018小浜大会時に地元<br>国体選手による高校生を中心としたバレーボール教室              | 8月2日(木) 1回                                 | 若狭シーサイドパーク 特設会場                  | 地元高校生中心 約50名                                                    |
| 5 | 体操         | 新体操           | 福井県男子新体操選手によるエキジビション                                                  | 10月3日(水)17:15～17:45                        | 福井県サンドーム                         | 福井県立科学技術高等学校<br>男子新体操部10名+監督1名                                  |
|   |            | トランポリン        | 日本代表またはトップクラスの選手による演技披露                                               | 10月1日(月)(12:00～12:25)                      | 福井県サンドーム                         | トランポリン演技者 2名(世界レベル選手1名<br>+地元優秀選手1名)<br>トランポリンの演技解説等の講師 1名      |
| 6 | バスケットボール   |               | 「車いすバスケットボールエキシビションゲーム」                                               | 10月4日(木)3位表彰式後(14:05～<br>14:35)            | 福井県営体育館                          | 決勝戦観戦者(約2000名)                                                  |
| 7 | セーリング      |               | 「レース観戦、実況放映及び解説」<br>会場内にTVモニターを設置し映像と実況解説により、「見えるセーリング競技」として実施。       | 9月30日(日)～10月3日(水)4日間                       | 若狭和田マリーナ特設セーリング会場                | 一般来場者、視察者及び監督、選手等<br>(約1000名)                                   |
| 8 | ウエイトリフティング |               | これまでのオリンピック大会や国際大会等の試技を収録したDVD上映                                      | 10月4日(木)～8日(月)<br>実施回数:1日3～4回程度            | 小浜市民体育館                          | 観戦者及び選手役員 延べ5000名程度                                             |
| 9 | ハンドボール     |               | 「子どもを対象とした7mスローコンテスト」                                                 | 9月16日(日)～17日(月)の決勝のハーフ<br>タイム              | 1. 福井県営体育館<br>2. 永平寺町緑の村ふれあいセンター | 小学生以下対象<br>1回に20名程度(3回×20名=延べ60名)                               |

# 第73回国民体育大会(福井県)の各競技会場におけるイベント事業について

平成30年6月14日現在

|    | 競技名        | 種目名 | 実施内容                                                                                         | 実施日時                                                                                                                                              | 実施会場                                          | 参加者・対象者                                                               |
|----|------------|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 10 | 軟式野球       |     | 「キャッチボールクラシック」<br>キャッチボールの正確さとスピードを競うゲーム                                                     | 10月7日(日)15:00～<br>第3試合終了後                                                                                                                         | 敦賀市総合運動公園野球場                                  | 学童チームの選手<br>約10チーム 約100名程度                                            |
| 11 | 相撲         |     | 「相撲体操」の講習会                                                                                   | 9月28日(金)                                                                                                                                          | 大野市立上庄小学校                                     | 児童 約80名(大野市立上庄小学校及び乾側小学校)                                             |
| 12 | 馬術         |     | ①エサやり体験コーナーによるふれあいイベント実施<br>②馬術競技観戦者に対する観戦ミニガイドの無料配布<br>③放送委員による競技の解説・実況                     | 10月1日(月)～5日(金)                                                                                                                                    | 御殿場市馬術・スポーツセンター<br>(静岡県御殿場市)                  | 馬術競技観戦者                                                               |
| 13 | 柔道         |     | ①記念撮影ブースの開設<br>②メダリストによる写真撮影、握手会<br>③試合間に畳上でオリリンピック、世界選手権メダリストによるトークや技の試技、小学生を中心とした柔道経験者との乱取 | ①記念撮影ブース<br>10月6日(土)10:00～15:00<br>10月7日(日)10:00～15:00<br>10月8日(月)10:00～12:00<br>②写真撮影・握手会<br>10月7日(日)午後<br>③トーク、試技、乱取<br>10月7日(日)11:15(女子総合表彰式前) | 福井県立武道館                                       | ①一般観客(時間内制限無し)<br>②一般観客先着150名程度<br>③柔道経験のある小学生30名程度                   |
| 14 | ソフトボール     |     | 1. 講師挨拶<br>2. ウォーミングアップ<br>3. キャッチボール、ゴロとり<br>4. ノック<br>5. ピッチング指導                           | 9月30日(日)<br>試合終了後の1回                                                                                                                              | 永平寺町松岡総合運動公園you me<br>パーク<br>※雨天時は近隣の学校体育館を検討 | 小学生(中学生可)100名以内                                                       |
| 15 | 弓道         |     | 「弓道体験コーナー」                                                                                   | 9月30日(日) 9:30～16:30<br>10月1日(月) 9:30～16:30<br>10月2日(火) 9:30～15:00<br>10月3日(水) 9:30～12:00                                                          | 敦賀市<br>弓道競技場付近(敦賀市総合運動公園内敷地)                  | 試合観戦者(500名程度)                                                         |
| 16 | ライフル射撃     |     | ①ビームライフル体験射撃<br>②ビームピストル体験射撃                                                                 | ①10月5日(金) 16:00～17:30 1回<br>②10月4日(木)～6日(土)<br>10:00～16:00 3回                                                                                     | ①福井県立足羽高等学校第一体育館<br>②福井県警察学校体育館               | ①小中学生、一般(高校生以上)対象(50名程度)事前予約制<br>②小中学生及び一般(高校生以上)対象。先着順とする(100名程度×3日) |
| 17 | ラグビーフットボール |     | 特別支援学校の生徒と小浜市内の小学生とタグラグビー                                                                    | 9月29日(土)<br>9:30～11:30 1回                                                                                                                         | 小浜市総合運動場(陸上競技場)<br>※雨天時は屋内競技施設                | 県立嶺南西特別支援学校生徒及び市内小学生<br>全体で50名程度                                      |

# 第73回国民体育大会(福井県)の各競技会場におけるイベント事業について

平成30年6月14日現在

|    | 競技名     | 種目名             | 実施内容                                                                                   | 実施日時                                                                                | 実施会場                                      | 参加者・対象者                                                                            |
|----|---------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 18 | カヌー     | スプリント           | ブロック対抗マスターズリレー大会                                                                       | 10月2日(火)(競技3日目)のレース終了後に開催(1レースのみ)                                                   | あわら市北潟湖特設カヌーコース                           | 現役引退したカヌースプリント競技経験者及び30歳以上の本大会不出場者<br>各ブロック4名×9ブロック (合計36名)                        |
|    |         | スラローム・ワイルドウォーター | トップクラスのアスリートの講演またはデモンストレーション                                                           | 10月5日(金)(競技1日目)の種目別表彰式終了後                                                           | 大野市ふれあい会館(講演)<br>九頭竜川特設カヌーコース(デモンストレーション) | 一般来場者                                                                              |
| 19 | アーチェリー  |                 | 「アーチェリー体験コーナー」                                                                         | 10月6日(土)～7日(日)<br>9:30～15:30の間随時実施                                                  | 福井市スポーツ公園                                 | 小学生・中学生及び一般市民200名程度                                                                |
| 20 | 空手道     |                 | ①福井県空手道連盟少年部による空手道演武披露<br>②地元福井県立敦賀高等学校吹奏楽部によるマーチングバンド披露<br>③地元敦賀市和太鼓団体コラボレーションによる演奏披露 | ①10月6日(土)昼休み(12:30～12:50)<br>②10月7日(日)昼休み(12:30～12:50)<br>③10月8日(月)昼休み(12:55～13:15) | 敦賀市総合運動公園体育館                              | ①福井県空手道連盟少年部及び関係者 100名程度(予定)<br>②敦賀高等学校吹奏楽部マーチングバンド 30名(予定)<br>③敦賀市和太鼓団体 20名程度(予定) |
| 21 | クレー射撃   |                 | 「レーザークレー射撃体験」                                                                          | 9月13日(木)～17日(月)<br>10:00～16:00頃                                                     | 福井県クレー射撃場内 仮設テント                          | 国体会場を訪れた一般観客や、応援に訪れた選手・役員のご家族 200名程度                                               |
| 22 | なぎなた    |                 | ①変身コーナー<br>②参加選手への応援メッセージ<br>③メモ帳プレゼント ※1・2の参加者に<br>④なぎなたの説明リーフレット 配布                  | 10月6日(土)                                                                            | 鯖江市総合体育館                                  | 一般来場者                                                                              |
| 23 | ボウリング   |                 | 「福井ふれあいボウリング」<br>全日本ナショナルチームメンバー及び地元福井県代表選手による、選手紹介や模範投球。<br>市民への実技指導、ゲーム。             | 10月7日(日)<br>10:00～12:00 1回                                                          | 福井市スポーツプラザWAVE40                          | 福井市内に在住・在勤・在学者及び県内障がい者とその家族<br>約50～70名                                             |
| 24 | トライアスロン |                 | 「キッズトライアスロン」                                                                           | 9月2日(日) 7:30～                                                                       | 高浜町<br>若狭和田特設会場                           | 小学校3～4年生の部 30名<br>小学校5～6年生の部 30名 合計60名                                             |

## 第 73 回国民体育大会（福井県） アンチ・ドーピング活動実施計画

### 1. 大会名・会期

第 73 回国民体育大会（福井県）：平成 30 年 9 月 29 日（土） ～ 10 月 9 日（火）【11 日間】

※ 会期前：平成 30 年 9 月 9 日（日） ～ 17 日（月）

※ 自転車競技会：平成 30 年 9 月 25 日（火）～29 日（土）

### 2. ドーピング検査

#### (1) 検査方針

国民体育大会ドーピング検査は、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）が定める「アンチ・ドーピング規程」及び日本体育協会が定める「国民体育大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に則り、競技会検査を実施する。検査は JADA が実施する。

- ・ 競技会検査とは、当該競技会に関連して競技者が検査対象として抽出される検査をいう。
- ・ 競技会検査は少年種別を含む全競技者を対象とする。
- ・ 実施予定の競技種目は、予め公開しないこととする。

#### (2) 予定検体数

競技会検査：170 検体（25 競技程度を予定）

※参考

| 大会             | 競技会検査         | 競技会外検査 | 総計     |
|----------------|---------------|--------|--------|
| 第 63 回大会（大分県）  | 128 検体(16 競技) | 76 検体  | 204 検体 |
| 第 64 回大会（新潟県）  | 159 検体(16 競技) | 50 検体  | 209 検体 |
| 第 65 回大会（千葉県）  | 138 検体(17 競技) | 68 検体  | 206 検体 |
| 第 66 回大会（山口県）  | 142 検体(15 競技) | 22 検体  | 164 検体 |
| 第 67 回大会（岐阜県）  | 173 検体(21 競技) | 50 検体  | 223 検体 |
| 第 68 回大会（東京都）  | 214 検体(24 競技) | 0 検体   | 214 検体 |
| 第 69 回大会（長崎県）  | 197 検体（23 競技） | 0 検体   | 197 検体 |
| 第 70 回大会（和歌山県） | 216 検体（28 競技） | 0 検体   | 216 検体 |
| 第 71 回大会（岩手県）  | 219 検体（24 競技） | 0 検体   | 219 検体 |
| 第 72 回大会（愛媛県）  | 170 検体（27 競技） | 0 検体   | 170 検体 |

### 3. アウトリーチプログラム

総合開会式会場にブースを設置し、教育・情報提供・啓発活動（アウトリーチプログラム）を実施する。

- ・ 実施計画：総合開会式
- ・ 会場：福井県福井市（福井県営陸上競技場）
- ・ 実施日：平成 30 年 9 月 29 日（土）

## 平成 30 年度 JSPO スポーツ・アクティブ・パートナー・プログラムについて

(平成 30 年 6 月 14 日現在)

## 基本プログラム「フェアプレイで日本を元気にキャンペーン」等

&lt;オフィシャルパートナー&gt; 協賛金額：年間 1,500 万円（税別）

| (企 業 名)         | (カテゴリー)         |
|-----------------|-----------------|
| ・アシックスジャパン株式会社  | スポーツ用品並びにスポーツ用具 |
| ・大塚製薬株式会社       | 清涼飲料水           |
| ・ミズノ株式会社        | スポーツ用品並びにスポーツ用具 |
| ・三井住友海上火災保険株式会社 | 損害保険            |
| ・株式会社ローソン       | コンビニエンスストア      |
| ・株式会社ロッテ        | 菓子              |
| ・株式会社廣済堂        | 人材派遣業           |
| ・株式会社セレスポ       | イベント設営業務        |
| ・ニチバン株式会社       | 医療用テープ          |
| ・日本文化出版株式会社     | 出版              |
| ・西鉄旅行株式会社       | 旅行業             |
| ・図書印刷株式会社       | 印刷業             |

## 選択プログラム

&lt;国体パートナー（第 73 回国民体育大会、第 74 回国民体育大会冬季大会）&gt;

協賛金額：年間 1,000 万円（税別）

| (企 業 名)         | (カテゴリー)         |
|-----------------|-----------------|
| ・アシックスジャパン株式会社  | スポーツ用品並びにスポーツ用具 |
| ・大塚製薬株式会社       | 清涼飲料水           |
| ・ミズノ株式会社        | スポーツ用品並びにスポーツ用具 |
| ・三井住友海上火災保険株式会社 | 損害保険            |
| ・株式会社ローソン       | コンビニエンスストア      |

## 国民体育大会冬季大会の開催実績及び今後の開催予定

◆平成12年(第55回大会)以降の冬季大会開催都道府県

H30.6.14

| 大会        |    | 本大会 | 冬季大会 |                   |         |
|-----------|----|-----|------|-------------------|---------|
| 年         | 回  |     | スキー  | スケート              | アイスホッケー |
| 2000(H12) | 55 | 富山  | 富山★  | 青森                |         |
| 2001(H13) | 56 | 宮城  | 長野   | 山梨                |         |
| 2002(H14) | 57 | 高知  | 新潟   | 北海道               |         |
| 2003(H15) | 58 | 静岡  | 北海道  | 群馬                |         |
| 2004(H16) | 59 | 埼玉  | 山形   | 青森                |         |
| 2005(H17) | 60 | 岡山  | 岩手   | 山梨                | 東京      |
| 2006(H18) | 61 | 兵庫  | 群馬   | 北海道               |         |
| 2007(H19) | 62 | 秋田  | 秋田★  | 群馬                |         |
| 2008(H20) | 63 | 大分  | 長野   |                   |         |
| 2009(H21) | 64 | 新潟  | 新潟★  | 青森                |         |
| 2010(H22) | 65 | 千葉  | 北海道  |                   |         |
| 2011(H23) | 66 | 山口  | 秋田   | 青森                |         |
| 2012(H24) | 67 | 岐阜  | 岐阜★  | (ス)岐阜★<br>(シ・フ)愛知 | 愛知      |
| 2013(H25) | 68 | 東京  | 秋田   | 東京★(ス福島)          |         |
| 2014(H26) | 69 | 長崎  | 山形   | 栃木                |         |
| 2015(H27) | 70 | 和歌山 | 群馬   |                   |         |
| 2016(H28) | 71 | 岩手  | 岩手★  |                   |         |
| 2017(H29) | 72 | 愛媛  | 長野   |                   |         |
| 2018(H30) | 73 | 福井  | 新潟   | 山梨                | 神奈川     |
| 2019(H31) | 74 | 茨城  | 北海道  |                   |         |
| 2020      | 75 | 鹿児島 | 富山   | 青森                |         |
| 2021      | 76 | 三重  | 秋田   | ス・岐阜<br>(シ・フ・愛知)  | (愛知)    |
| 2022      | 77 | 栃木  | (未定) |                   |         |
| 2023      | 78 | 佐賀  | (未定) |                   |         |
| 2024      | 79 | 滋賀  | (未定) |                   |         |
| 2025      | 80 | 青森  | (未定) |                   |         |
| 2026      | 81 | 宮崎  | (未定) |                   |         |
| 2027      | 82 | 長野  | 長野   |                   |         |
| 2028      | 83 | 群馬  | (未定) |                   |         |

【注】① ★印の都道府県は、国体本大会(夏秋季大会)と冬季大会を併せて開催。

② スケート競技会の(ス)はスピード種目を、(シ)はショートトラック種目を、(フ)はフィギュアスケート種目を表す。

日本スポーツ協会スポーツ推進方策2018 実施状況の検証・評価

資料No.15-1

【3方針】

誰も:誰もがスポーツ文化を豊かに享受できる環境の創出  
多様:スポーツ享受の多様化の促進  
連携:スポーツを核にした連携・協働の促進

【進捗評価基準】

S:当初の計画を超える進展がある。  
A:当初の計画に沿って概ね順調に進展している。  
B:当初の計画より遅れている。  
C:当初の計画より大幅に遅れており、目標の変更を検討する必要がある。  
D:未着手である。  
完了:作業完了

【2022年度の目標に対する達成度評価基準】

S:はるかに上回っている(120%以上)  
A:達成している(100%以上120%未満)  
B:やや下回っている(80%以上100%未満)  
C:下回っている(60%以上80%未満)  
D:かなり下回っている(60%未満)  
-:未着手のため評価なし

| No. | 大 | 中 | 小 | 具体的施策                                                                                                                            | 3方針 | 新規・継続 | 所管委員会                         | 2018年度の実施状況・課題                                                                                                                               | 2019年度以降の実施状況予定                                                              | 進捗評価  |    | 達成度評価 |    |
|-----|---|---|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|-------|----|-------|----|
|     |   |   |   |                                                                                                                                  |     |       |                               |                                                                                                                                              |                                                                              | 2018年 |    | 2019年 |    |
|     |   |   |   |                                                                                                                                  |     |       |                               |                                                                                                                                              |                                                                              | 上期    | 下期 | 上期    | 下期 |
|     |   |   |   | 1. スポーツ推進事業の展開                                                                                                                   |     |       |                               |                                                                                                                                              |                                                                              |       |    |       |    |
|     |   |   |   | ○イベント事業                                                                                                                          |     |       |                               |                                                                                                                                              |                                                                              |       |    |       |    |
|     |   |   |   | (1)国民体育大会の充実・活性化と大会を通じた競技力の向上                                                                                                    |     |       |                               |                                                                                                                                              |                                                                              |       |    |       |    |
|     |   |   |   | 1)「国体ムーブメント」の積極的な展開                                                                                                              |     |       |                               |                                                                                                                                              |                                                                              |       |    |       |    |
| 1   |   |   |   | ①国民体育大会(以下「国体」という。)に関連する諸事業を通して、「21世紀の国体像～国体ムーブメントの推進～」で示した「21世紀の国体の目指す方向性(コンセプト)」について、多くの人々の理解と賛同が得られる運動として「国体ムーブメント」を積極的に展開する。 | 誰も  | 継続    | 国民体育大会委員会                     | ・実施規模等検討ワーキンググループ等を通じ、開催県および実施競技団体等と協力して「国体ムーブメント」を展開する。                                                                                     | ・第4期実施競技(2027～2030年に開催される大会の実施競技)選定ワーキンググループ等にて、国体の目指す方向性等を検討する。             | -     | -  | -     | -  |
| 2   |   |   |   | ②中央競技団体と連携して、国体開催地において、国体開催前後に各競技の全国規模の大会を開催する等、開催県等の実情に応じた取組を推進し、国体会場となる施設の有効利用を目指す。                                            | -   | 継続    | 国民体育大会委員会                     | ・各会議において、中央競技団体に対し、国体会場となる施設の有効利用について協力を依頼する。                                                                                                | ・中央競技団体に対して取組状況を調査する。<br>・引き続き、各会議において、中央競技団体に対し、国体会場となる施設の有効利用について、協力を依頼する。 | -     | -  | -     | -  |
| 3   |   |   |   | ③加盟団体が行うアスリートの発掘・育成・強化を通じて、広く社会に貢献できる人材が育成されるよう支援する。                                                                             | -   | 継続    | 国民体育大会委員会                     | ・加盟団体が行うアスリートの発掘・育成・強化策について情報を収集する。                                                                                                          | ・引き続き、加盟団体が行うアスリートの発掘・育成・強化策について情報を収集するとともに、具体的な支援策を検討する。                    | -     | -  | -     | -  |
|     |   |   |   | 2)各競技会の実施規模等の適正化                                                                                                                 |     |       |                               |                                                                                                                                              |                                                                              |       |    |       |    |
| 4   |   |   |   | 競技会の充実・活性化を図るため、少年種別(ジュニア世代)の充実、女子種別の充実、選手兼任監督の解消、各競技参加人数の適正化、参加県数の適正化の観点から、各競技会の実施規模(参加人数等)について検討し、実施規模等の適正化を図る。                | 誰も  | 継続    | ・国民体育大会委員会<br>・女性スポーツ委員会      | ・実施規模等検討ワーキンググループにて、中央競技団体に意向調査を実施するなど、実施規模等の適正化を図るための調整を進める。                                                                                | ・実施規模等検討ワーキンググループでの検討課題について、第4期実施競技選定ワーキンググループで取り組む。                         | -     | -  | -     | -  |
|     |   |   |   | 3)広報活動およびマーケティング活動の展開                                                                                                            |     |       |                               |                                                                                                                                              |                                                                              |       |    |       |    |
| 5   |   |   |   | ①スポーツ基本法の改正に準じた大会名称変更(本会案:国民スポーツ大会)への対応に伴い、大会の認知度が90%となるよう周知を図る。                                                                 | 誰も  | 継続    | 国民体育大会委員会                     | ・スポーツ基本法の改正に基づき新たな大会名称が決定した際は、本会各種広報物等で周知するとともに、開催県と連携して周知を図る。<br>・大会の認知度調査を行い、現状を把握する。                                                      | ・引き続き、本会各種広報物等で周知するとともに、開催県と連携して周知を図る。                                       | -     | -  | -     | -  |
| 6   |   |   |   | ②SNS等を活用した積極的な情報発信、トップアスリート等によるPRイベントの開催を検討する等、広報活動の一層の充実を図ることにより、大会ブランド価値の向上を目指す。                                               | -   | 継続    | ・国民体育大会委員会<br>・広報・スポーツ情報専門委員会 | 【国体】<br>・本大会開催前に有名アスリート等が出席する大会記者発表を開催し、大会のPRを行う。<br>・国体専用ウェブサイト(#国体fan)および本会ホームページの情報を充実させ、大会のPRを図る。<br>【広報】<br>・SNSを活用した国体のPRを、前年度に引き続き行う。 | 【国体】<br>・同左<br><br>【広報】<br>・同左                                               | -     | -  | -     | -  |

| No. | 大 | 中 | 小 | 具体的施策                                                                                               | 3方針 | 新規・継続 | 所管委員会                                           | 2018年度取組<br>・達成状況・課題                                                                                           | 2019年度以降の取組予定                                                                                           | 進捗評価  |    | 達成度評価 |    |
|-----|---|---|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|-------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----|-------|----|
|     |   |   |   |                                                                                                     |     |       |                                                 |                                                                                                                |                                                                                                         | 2018年 |    | 2018年 |    |
|     |   |   |   |                                                                                                     |     |       |                                                 |                                                                                                                |                                                                                                         | 上期    | 下期 | 上期    | 下期 |
| 7   |   |   |   | ③国体協賛制度の充実、放映権の有効活用等、マーケティング活動を積極的に展開することにより、協賛金収入等が2017年度比増となることを目指す。                              | 連携  | 継続    | ・国民体育大会委員会<br>・総合企画委員会(財務部会)<br>・広報・スポーツ情報専門委員会 | 【国体】<br>・総合企画委員会と連携し、マーケティング活動を展開する。<br>【財務部会／広報】<br>・国体に対する協賛金が増となるよう、現行制度における協賛メリットの検討やスポンサー獲得・継続のため働きかけを行う。 | 【国体】<br>・同左<br>【財務部会／広報】<br>・放映権の整理、インターネット配信の活用を図り、国体の高価値化を進めるとともに、都道府県、市町村の権利を整理し、協賛メリットが意識出来る制度を整える。 | -     | -  | -     | -  |
| 8   |   |   |   | ④ユニフォーム規程を改定し、ユニフォーム協賛を導入することにより、都道府県体育(スポーツ)協会(以下「都道府県体協」という。)等関係機関・団体における財源確保に貢献する。               | 連携  | 継続    | ・国民体育大会委員会<br>・総合企画委員会(財務部会)                    | 【国体】<br>・ユニフォーム規程の改定に向けた協議を行い、ユニフォーム協賛の導入に向け、加盟団体と調整を図る。<br>【財務部会】<br>・現在の協賛制度と照らし合わせユニフォーム協賛について国体委員会にて検討する。  | 【国体】<br>・ユニフォーム規程を改定し、ユニフォーム協賛の導入を目指す。<br>【財務部会】<br>・新たな企業協賛制度の確立において課題として検討する。                         | -     | -  | -     | -  |
|     |   |   |   | 4) 冬季大会の安定的な開催に向けた取り組み                                                                              |     |       |                                                 |                                                                                                                |                                                                                                         |       |    |       |    |
| 9   |   |   |   | ①日本スポーツ振興センター(以下「JSC」という。)に対し「競技会開催支援事業」および「スポーツ施設等整備事業」の各助成事業の継続実施および拡充に向けた要請を行う等、開催県の経費負担軽減に取り組む。 | -   | 継続    | 国民体育大会委員会                                       | ・JSCに対してtoto助成事業の充実・拡充を要請する。                                                                                   | ・JSCに対してtoto助成事業の充実・拡充を要請するとともに、他の財源確保に努める。                                                             | -     | -  | -     | -  |
| 10  |   |   |   | ②冬季競技会を開催可能な施設を有している都道府県の協力を得て、開催県のローテーション化の確立を図る等、安定的な開催(開催5年前までに開催依頼、3年前までに開催地が決定する状態)に向けて取り組む。   | -   | 継続    | 国民体育大会委員会                                       | ・開催可能都道府県と調整し、第77回以降の冬季大会開催地の早期決定を目指す。                                                                         | ・引き続き、開催可能都道府県と調整し、早期の開催地決定を目指す。                                                                        | -     | -  | -     | -  |
|     |   |   |   | 5) 大会運営に係る開催地の負担軽減                                                                                  |     |       |                                                 |                                                                                                                |                                                                                                         |       |    |       |    |
| 11  |   |   |   | ①国体協賛企業の拡充を図るとともに、本大会参加都道府県および正式競技実施団体の負担金等の導入について検討することにより、ブロック大会、本大会開催県の負担軽減を図る。                  | 連携  | 継続    | ・国民体育大会委員会<br>・総合企画委員会(財務部会)                    | ・新たな財源確保の観点から、開催県の負担軽減策の検討を行う。                                                                                 | ・開催県の負担軽減策を検討するとともに、必要に応じて都道府県体育(スポーツ)協会および中央競技団体と調整を行う。                                                | -     | -  | -     | -  |
| 12  |   |   |   | ②開催県の要望を踏まえ、県外開催を含めた既存施設の活用、施設基準の見直し等、大会運営の簡素・効率化に取り組む。                                             | -   | 継続    | 国民体育大会委員会                                       | ・具体的な対応策を検討するとともに、中央競技団体と調整を図る。                                                                                | ・具体的な対応策を検討し中央競技団体と調整を図るとともに、加盟団体に対して意向調査を行う。                                                           | -     | -  | -     | -  |
|     |   |   |   | 6) 3巡目の開催に向けた国体の在り方についての検討                                                                          |     |       |                                                 |                                                                                                                |                                                                                                         |       |    |       |    |
| 13  |   |   |   | 国体が2034年(予定)に3巡目開催を迎えるにあたり、2022年までにプロジェクトを設置し、情報収集と大会の在り方の見直しを行うことにより、国体の継続的、安定的な開催を実現する。           | -   | 新規    | 国民体育大会委員会                                       | ・プロジェクト設置に向け、国体委員会等において意見交換を行う。                                                                                | ・プロジェクト設置に向けたワーキンググループを立ち上げる。                                                                           | -     | -  | -     | -  |

| No. | 大 | 中 | 小 | 具体的施策                                                                                                                                                                       | 3方針 | 新規・継続 | 所管委員会                                         | 2018年度取組<br>・達成状況・課題                                                                                                              | 2019年度以降取組予定                                                       | 進捗評価  |    | 達成度評価 |    |
|-----|---|---|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|-------|----|-------|----|
|     |   |   |   |                                                                                                                                                                             |     |       |                                               |                                                                                                                                   |                                                                    | 2018年 |    | 2018年 |    |
|     |   |   |   |                                                                                                                                                                             |     |       |                                               |                                                                                                                                   |                                                                    | 上期    | 下期 | 上期    | 下期 |
|     |   |   |   | 7)ドーピング検査の実施                                                                                                                                                                |     |       |                                               |                                                                                                                                   |                                                                    |       |    |       |    |
| 14  |   |   |   | 国体においてドーピング検査を実施することにより、国体に参加する選手、指導者、スタッフおよびジュニア世代の競技者に対するアンチ・ドーピング教育・情報提供・啓発活動を推進し、国内のアンチ・ドーピング活動の拡充に資することを目指す。                                                           | —   | 新規    | ・国民体育大会委員会<br>・アンチ・ドーピング委員会                   | ・大会においてドーピング検査を実施するとともに、各競技会場でアンチ・ドーピング活動を実施することにより、参加者に対してドーピングに対する意識啓発を行う。                                                      | ・同左                                                                |       | —  | —     | —  |
|     |   |   |   | 8)アスリートの発掘・育成・強化                                                                                                                                                            |     |       |                                               |                                                                                                                                   |                                                                    |       |    |       |    |
| 15  |   |   |   | 都道府県体協や中央競技団体等が行う将来性豊かなアスリートの発掘・育成・強化を、スポーツ庁、JOC、日本パラリンピック委員会、JSC等と連携・協力して支援し、国体を通じたジュニアアスリートの競技力の向上を図るとともに、障がいの有無に依らず、全てのジュニアアスリートに自分の可能性に挑戦する機会を提供する。                     | 誰も  | 新規    | 国民体育大会委員会                                     | ・JSC委託事業として「ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト」を実施することにより、オリンピック競技6競技・種目、パラリンピック競技5競技のタレントを発掘する。                                               | ・「ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト」を継続実施することにより、オリンピック競技、パラリンピック競技のタレントを発掘する。 |       | —  | —     | —  |
|     |   |   |   | 9)その他                                                                                                                                                                       |     |       |                                               |                                                                                                                                   |                                                                    |       |    |       |    |
| 16  |   |   |   | 国体参加申込システムを改修し、公認スポーツ指導者管理システムとの連携を図る等により、都道府県競技団体の国体に向けた諸活動を支援する。                                                                                                          | 連携  | 新規    | ・国民体育大会委員会<br>・広報・スポーツ情報専門委員会                 | 【国体】<br>・国体参加申込システム改修に向けて具体的な内容を検討する。<br>【広報】<br>・新システムの仕様を作成し、構築業者を選定する。                                                         | 【国体・広報】<br>・国体参加申込システム改修を行う。                                       |       | —  | —     | —  |
|     |   |   |   | ○ソフトインフラ事業                                                                                                                                                                  |     |       |                                               |                                                                                                                                   |                                                                    |       |    |       |    |
|     |   |   |   | (3)学校スポーツとの連携・協力                                                                                                                                                            |     |       |                                               |                                                                                                                                   |                                                                    |       |    |       |    |
|     |   |   |   | 1)中学・高等学校運動部活動との連携・協力                                                                                                                                                       |     |       |                                               |                                                                                                                                   |                                                                    |       |    |       |    |
| 82  |   |   |   | ⑤全国高等学校体育連盟、日本中学校体育連盟等の学校関係団体と連携し、協力体制の確立を図ることで、それぞれが主催する総合スポーツ大会の安定的開催、学校運動部活動に関わる教員や外部指導員等における公認スポーツ指導者資格取得の促進、学校運動部活動における公認スポーツ指導者の活用、体罰等の不適切な指導の根絶等、持続可能な学校運動部活動の実現を図る。 | 連携  | 継続    | ・倫理委員会<br>・国民体育大会委員会<br>・指導者育成専門委員会           | 【国体】<br>・ジュニアアスリート育成連絡会議を開催し、それぞれの主催大会に関して情報共有するとともに、主催大会の開催スケジュール等を調整する。<br>【指導者】<br>No.79、80で対応                                 | 【国体】<br>・同左<br>【指導者育成】<br>・同左                                      |       | —  | —     | —  |
|     |   |   |   | (5)スポーツ医・科学研究の推進                                                                                                                                                            |     |       |                                               |                                                                                                                                   |                                                                    |       |    |       |    |
|     |   |   |   | 4)本会加盟団体等との連携による研究プロジェクトの推進                                                                                                                                                 |     |       |                                               |                                                                                                                                   |                                                                    |       |    |       |    |
| 110 |   |   |   | ③日本アンチ・ドーピング機構（以下「JADA」という。）、日本薬剤師会、都道府県体協および中央競技団体や教育機関と連携し、アンチ・ドーピングに関する教育プログラムを推進するとともに、都道府県体協における教育・啓発の支援等を継続的に行う。                                                      | 連携  | 継続    | ・アンチ・ドーピング委員会<br>・国民体育大会委員会<br>・スポーツ医・科学専門委員会 | 【国体】<br>・JADAと連携し、国体競技会場において実施するアウトリーチプログラムを通じて、教育・啓発を行う。<br>【スポ研】<br>・国体選手のみならず、ジュニア選手、指導者、ドクターなどの関係者に対しアンチ・ドーピングに関する教育・啓発活動を行う。 | 【国体】<br>・同左<br>【スポ研】<br>・同左                                        |       | —  | —     | —  |
| 111 |   |   |   | ④中央競技団体、国立スポーツ科学センター（以下「JISS」という。）およびスポーツ安全協会等と連携し、スポーツ現場における外傷・障害の発生状況に関する実態調査を行い、競技種目別の予防プログラムの作成や、効果検証、情報提供等を継続的に行う。                                                     | 連携  | 継続    | ・アンチ・ドーピング委員会<br>・国民体育大会委員会<br>・スポーツ医・科学専門委員会 | 【国体】<br>・国体傷害補償制度を通じて、傷害発生の実態を把握する。<br>【スポ研】<br>・スポーツ現場における事故事例とそれ以外の統計データの統合や、他競技を対象とする外傷・障害予防プログラムの作成に向けた議論を開始する。               | 【国体】<br>・同左<br>【スポ研】<br>・同左                                        |       | —  | —     | —  |

| No. | 大 | 中 | 小 | 具体的施策                                                                                                                                              | 3方針 | 新規・継続 | 所管委員会                                                                         | 2018年度取組<br>・達成状況・課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 2019年度以降の取組予定                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 進捗評価  |    | 達成度評価 |    |
|-----|---|---|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|-------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----|-------|----|
|     |   |   |   |                                                                                                                                                    |     |       |                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 2018年 |    | 2018年 |    |
|     |   |   |   |                                                                                                                                                    |     |       |                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 上期    | 下期 | 上期    | 下期 |
|     |   |   |   | (6)スポーツ情報システムの整備・拡充                                                                                                                                |     |       |                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |       |    |       |    |
|     |   |   |   | 1)事業毎に区分けされた情報の一元化                                                                                                                                 |     |       |                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |       |    |       |    |
| 116 |   |   |   | 本会が保有し、事業毎(公認スポーツ指導者、スポーツ少年団、競技者エントリー履歴)に分けて管理している情報を一元化し、本会のステークホルダーに関する情報を統合するとともに、これらの情報を情報システムの利用者等との間で双方向管理できる環境を整え、情報の確度が高く使いやすいシステムの構築を目指す。 | 連携  | 継続    | ・国民体育大会委員会<br>・日本スポーツ少年団<br>・日本スポーツマスターズ委員会<br>・指導者育成専門委員会<br>・広報・スポーツ情報専門委員会 | 【国体】<br>・各委員会と連携し、今後の情報システムについて検討する。<br>【広報】<br>・2016年度に作成した本会統合システムの将来像に沿って、少なくとも1事業について担当課とも調整の上、システム構築に着手する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 【国体】<br>・同左<br>【広報】<br>・2018年度に着手したシステムに加え、さらに1事業以上のシステム構築に着手する。                                                                                                                                                                                                                                           | -     | -  | -     | -  |
|     |   |   |   | (2)外部組織・団体との連携の促進                                                                                                                                  |     |       |                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |       |    |       |    |
|     |   |   |   | 1)民間スポーツ関係団体との連携の促進                                                                                                                                |     |       |                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |       |    |       |    |
| 161 |   |   |   | ①JOC、日本障がい者スポーツ協会との連携を促進することにより、スポーツ未実施者からトップアスリートまで、誰もが安全に、安心して各々の志向に合わせてスポーツが実施できる環境の整備を図る。                                                      | 誰も  | 新規    | すべての委員会等                                                                      | 【国体】<br>・JSC委託事業として「ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト」を実施することにより、オリンピック競技6競技・種目、パラリンピック競技5競技のタレントを発掘する。<br>【指導者】<br>・平昌オリンピックにおける日本選手団監督・チームスタッフの資格保有率を調査する。<br>・公認スポーツ指導者制度の改定において、JOCが主催するナショナルコーチアカデミーと共通科目カリキュラムを接続させる。<br>【広報】<br>・本会が保有する日本スポーツの歴史を伝える貴重な書籍、資料等について、オリンピック関連の資料についてはJOCと権利整理を行う。<br>【クラブ】<br>・日本障がい者スポーツ協会と連携し、ブロック別クラブネットワークアクションにおいて、障がい者スポーツに関する共通プログラムを実施する。<br>【企画部会】<br>・日本障がい者スポーツ協会が主催するジャパンスポーツフェスタにJOCとともに共催し障がい者スポーツの理解促進に協力する。 | 【国体】<br>・「ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト」を実施することにより、オリンピック競技、パラリンピック競技のタレントを発掘する。<br>【指導者】<br>・オリンピック競技大会で活躍する監督・コーチで、資格保有者の活動紹介をホームページや総合情報誌「Sport Japan」にて行う。<br>・公認スポーツ指導者資格の保有がJOCナショナルコーチアカデミーの参加条件となるよう協議を継続的に進める。<br>【広報／クラブ】<br>・前年度からの取組を充実・拡大させる。<br>【企画部会】<br>・前年度実績を踏まえて日本障がい者スポーツ協会、JOCとの連携策を検討し、実行する。 | -     | -  | -     | -  |
| 162 |   |   |   | ②JADA、日本スポーツ仲裁機構等との連携を促進することにより、スポーツ・インテグリティを守り、高める機運を一層醸成し、フェアプレー精神の浸透を図る。                                                                        | 連携  | 新規    | ・アンチ・ドーピング委員会<br>・国民体育大会委員会<br>・スポーツ医・科学専門委員会                                 | 【国体】<br>・JADA、日本スポーツ仲裁機構と連携し、都道府県体協および中央競技団体に対して、アンチ・ドーピングおよびスポーツ仲裁に関する情報提供を行う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 【国体】<br>・同左                                                                                                                                                                                                                                                                                                | -     | -  | -     | -  |

**「21 世紀の国体像～国体ムーブメントの推進～」に係る  
進捗状況および今後の取組みについて**

平成 30 年 6 月 14 日

**IV. 国体の充実・活性化に向けた取組み****1. 具体的な取組みの内容**

| 項目                    | 工程等                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                   |                                                                                                     |
|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                       | 平成 25 年度<br>第 1 回国体委員会決定                                                                                                                                                                    | 進捗状況と今後の予定                                                                                                                        |                                                                                                     |
|                       |                                                                                                                                                                                             | 進捗状況<br>(H30.6 現在)                                                                                                                | 今後の予定                                                                                               |
| (1) 「国体ムーブメント」の積極的な展開 | 都道府県体協や中央競技団体、開催県などの関係機関・団体等と協力して随時対応（検討小委員会等で協議）                                                                                                                                           | ●随時対応                                                                                                                             | ●左記の内容にて継続対応を行う。                                                                                    |
| (2) 少年種別（ジュニア世代）の充実   |                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                   |                                                                                                     |
| ① 少年種別の参加人数及び参加県数の増   | 「(3) 各競技会の実施規模等の見直し」で対応                                                                                                                                                                     | —                                                                                                                                 | —                                                                                                   |
| ② 少年種別の年齢区分の見直し       | 中央競技団体に対し平成 25 年度に実施する中学 3 年生の参加拡充に関する調査とあわせて、中学 2 年生以下の参加拡充に関する調査を実施<br>→ 検討小委員会で協議<br>→ 拡充を希望する中央競技団体へのヒアリングを実施<br>→ 都道府県体協などの関係機関・団体等への意見聴取を実施<br>→ 全日本中学校長会や日本中学校体育連盟等と協議<br>→ 国体委員会で協議 | ●第 74 回大会からのバスケットボールの導入を含め、中 3 参加可能競技は、21 競技 26 種目。<br><br>●平成 28 年 3 月に中央競技団体に対し再調査を実施。<br>その際、中 3 導入済の団体には、中 2 以下の導入についての検討を確認。 | ●中 3 導入希望の中央競技団体と継続協議を行う。<br><br>●実施規模等検討 WG において、平成 30 年 6～7 月に、中央競技団体に対し、中 3（中 2 以下）導入希望の調査を実施予定。 |
| ③ 中体連・高体連等との連絡会議の開催   | 平成 25 年度中に 2 回開催<br>第 1 回：7 月～8 月<br>第 2 回：11 月～12 月                                                                                                                                        | ●毎年、定例的に連絡会議を開催。<br><br>●大会開催スケジュール、冬季大会開催地選定、参加負担金改定、指導者の体罰問題等を協議。                                                               | ●年 2～3 回程度の連絡会議を継続開催し、諸課題について議論を行う。                                                                 |

| 項目                 | 工程等                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                  |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
|                    | 平成 25 年度<br>第 1 回国体委員会決定                                                                                                                                                                                   | 進捗状況と今後の予定                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                  |
|                    |                                                                                                                                                                                                            | 進捗状況<br>(H30.6 現在)                                                                                                                                                                                                                 | 今後の予定                                                                            |
| (3) 各競技会の実施規模等の見直し |                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                  |
| ① 少年種別（ジュニア世代）の充実  | 役員改選後 WG を編成・設置<br>→ 7 月以降、平成 25 年度中に WG を 2 回～3 回開催し、2011 年 8 月作成のシミュレーションを精査の上、見直し案を作成<br>→ 平成 25 年度中に中央競技団体へのヒアリングを実施<br>→ WG を開催し、見直し案を再調整（その後も随時調整）<br>→ 都道府県体協や開催県などの関係機関・団体等への意見聴取を実施<br>→ 国体委員会で協議 | ●平成 28 年 3 月に実施した調査結果に基づき個々に協議・調整。<br><br>●レスリング（第 70 回大会から）、バスケットボール（第 74 回大会から）の中 3 導入。<br><br>●アーチェリーの少年種別の拡充（第 71 回大会から）。<br><br>●柔道の少年種別、女子種別の拡充（第 72 回大会から）。<br><br>●カヌーの女子種別の拡充（第 72 回大会から）。<br><br>●弓道の専任監督配置（第 70 回大会から）。 | ●実施規模の見直しについては、実施規模等検討 WG において、平成 30 年 6～7 月に、中央競技団体に対し、調査を実施し、具体的な取り組み内容の協議を行う。 |
| ② 女子種別の充実          |                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                  |
| ③ 専任監督の配置          |                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                  |
| ④ 各競技参加人数の見直し      |                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                  |
| ⑤ 参加県数の見直し         |                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                  |
| (4) 冬季大会の活性化       | 開催地のローテーション化の確立を含めた安定的な開催に向けた各種の取組みを継続                                                                                                                                                                     | ●大会の開催地については開催可能県に対して個々に交渉。<br><br>●第 76 回大会（スキー競技会）まで開催地決定。                                                                                                                                                                       | ●第 76 回大会（スケート・アイスホッケー競技会）以降の開催地が未定であり、その開催地選定を行うとともに、左記の内容（ローテーション化）について検討する。   |

## 2. 引き続き検討が必要な事項 ※平成 28(2016)年度を目途に検討結果をまとめる事項

| 項目               | 工程等                                                                                                                                   |                                                                                                          |                                              |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
|                  | 平成 25 年度<br>第 1 回国体委員会決定                                                                                                              | 進捗状況と今後の予定                                                                                               |                                              |
|                  |                                                                                                                                       | 進捗状況<br>(H30.6 現在)                                                                                       | 今後の予定                                        |
| (1) 表彰制度         | 役員改選後 WG を編成・設置<br>→ 10 月以降、平成 25 年度中に WG を 2 回程度開催し、現行の「競技得点」方式における課題を整理し、改めて見直しを検討<br>→ 必要に応じて都道府県体協や中央競技団体、開催県などの関係機関・団体等への意見聴取を実施 | 進捗なし                                                                                                     | 当面の間は現行通りとする。                                |
| (2) 大会名称         | 必要に応じて都道府県体協や中央競技団体、開催県などの関係機関・団体等への意見聴取を実施                                                                                           | ●平成 29 年 6 月 23 日の評議員会において名称変更の方針を決定。<br>●導入時期は、「スポーツ基本法」の改正に準じる。                                        | ●スポーツ基本法の改正に基づき、名称が変更した際は、開催県と連携して新名称の周知を図る。 |
| (3) 大会開催経費の負担軽減等 |                                                                                                                                       |                                                                                                          |                                              |
| 参加負担金の増額         | 検討小委員会で金額や導入大会について協議<br>→ 都道府県体協や中央競技団体、開催県などの関係機関・団体等への意見聴取を実施                                                                       | ●第 73 回冬季大会からの増額改定済(少年種別 2,000 円、その他 4,000 円)。                                                           |                                              |
| ゼッケンスポンサーの導入     | キャンペーン課と事務局案(導入可能競技、方法等)を確認・調整<br>→ 中央競技団体と調整<br>→ 「国体パートナー」(協賛企業)と調整<br>→ 都道府県体協や開催県などの関係機関・団体等と調整                                   | ●平成 26 年度第 5 回国体委員会にて導入決定。<br>●平成 27 年度第 1 回国体委員会にて「国民体育大会企業協賛に関するガイドライン」を改定。<br>●スキー競技会においてゼッケンスポンサー実施。 | ●協賛企業の獲得                                     |

| 項目      |                                  | 工程等                                                                                                     |                                                                                 |
|---------|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
|         |                                  | 平成 25 年度<br>第 1 回国体委員会決定                                                                                | 進捗状況と今後の予定                                                                      |
|         |                                  |                                                                                                         | 進捗状況<br>(H30.6 現在)                                                              |
|         | 競技別ユニフォーム<br>の広告制度の導入            | キャンペーン課と広告制度の内容<br>を確認・調整<br>→「国体パートナー」(協賛企業)<br>と調整<br>→ 都道府県体協や中央競技団<br>体、開催県などの関係機関・<br>団体等への意見聴取を実施 | ●平成 29 年 8 月 25 日<br>「ユニフォーム規程」を<br>制定。<br><br>●ユニフォーム広<br>告制度の導入につ<br>いて協議を行う。 |
| (4) その他 |                                  |                                                                                                         |                                                                                 |
|         | ブロック区分の見直<br>し(北海道ブロック<br>の取扱い)※ | 検討小委員会で協議<br>→ 北海道と協議<br>→ 都道府県体協や中央競技団<br>体、などの関係機関・団体等<br>への意見聴取を実施                                   | ●検討小委員会にて議<br>論。<br><br>●見直しに向けた<br>継続協議を行う。                                    |
|         | その他                              | 適宜、検討小委員会等で協議                                                                                           |                                                                                 |

●東京オリンピックに向けた取組み

|                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|--------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 「国民体育大会における 2020 年<br>オリンピック対策・実行計画」 | <p>●平成 25 年度にプロジェクトを立ち上げ、関係機関・団体等の意見聴取を基に、平成 26 年 5 月の国体委員会にて協議し、同 6 月の理事会にて策定。</p> <p>●第 71 回大会(岩手県)から 6 競技 6 種目の導入開始。</p> <p>●第 72 回大会(愛媛県)において 7 競技 7 種目を実施。</p> <p>●第 74 回大会(茨城県)において全 8 競技 9 種目を導入。</p> <p>●平成 30 年 6 月に第 76 回大会(三重県)の追加正式競技(種目・種別)を国体委員会にて決定する予定。</p> <p>●本実行計画終了後(第 78 回大会以降)の対象競技(種目・種別)の取扱いについては、平成 30 年 6 月の国体委員会にて決定する予定。</p> |
|--------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト ～世界で輝け未来のトップアスリート～

### 2018 年度実施要項

#### 1. 趣旨・目的：

本事業は、2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会終了後も、将来性の豊かな地域のスポーツタレント又はアスリートからメダル獲得の潜在能力を有するメダルポテンシャルアスリートまでの持続可能で強固なアスリートを育成する道筋(パスウェイ)「アスリート育成パスウェイ」を構築・充実させることを目的に実施する。

#### 2. 主催：公益財団法人日本スポーツ協会

#### 3. 協力：公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会

#### 4. 後援：スポーツ庁、公益財団法人日本中学校体育連盟、公益財団法人全国高等学校体育連盟、公益財団法人日本高等学校野球連盟

#### 5. 実施期間：2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日

#### 6. 内容：

##### ・種目最適(転向)型タレント発掘/育成（オリンピック競技）

本事業は、発掘、検証の 2 つの要素から構成され、日本オリンピック委員会(JOC)と協力し、都道府県体育・スポーツ協会に一部委託の上、競技拠点県と対象競技を設定して行う。

本年度は、昨年度発掘した有望者(1 期生)を対象に検証フェーズを本年 10 月まで継続し、検証フェーズで選考された有望者を中央競技団体が実施する育成プログラム等へ引き継ぐ。また、2 期生として、全国の中学・高校生年代(2018 年 4 月 1 日現在 12 歳から 17 歳)の男女のうち、既に高い身体能力や競技経験(成績)を有する者を対象に、測定会等の発掘フェーズと、その後の有望者による合宿等の検証フェーズを実施する。

##### ・障がい者アスリート発掘/育成（パラリンピック競技）

本事業は、発掘、検証の 2 つの要素から構成され、日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会(JPC)と協力し、都道府県体育・スポーツ協会に一部委託の上、競技拠点県と対象競技を設定して行う。

本年度は、昨年度発掘した有望者(1 期生)を対象に検証フェーズを本年 10 月まで継続し、検証フェーズで選考された有望者を中央競技団体が実施する育成プログラム等へ引き継ぐ。また、2 期生として、全国の障がい者(2018 年 4 月 1 日現在 12 歳以上)の男女を対象に、測定会等の発掘フェーズと、その後の有望者による合宿等の検証フェーズを実施する。

#### 7. 対象競技及び競技拠点県（委託先）：

昨年度発掘した 1 期生における対象競技及び競技拠点県(委託先)については、1 期生の検証期間を本年 10 月までとしていることや、1 年次(1 期生)の課題等を踏まえた対応を 2 年次(2 期生)に実施してもらい最終的な評価をする予定としていることなどから、昨年度設定した以下を継続する。

##### 【1 期生】

##### ●オリンピック競技

|             |     |
|-------------|-----|
| 水泳(飛込)      | 新潟県 |
| ウエイトリフティング  | 山梨県 |
| 7人制ラグビー(女子) | 北海道 |
| ソフトボール(女子)  | 高知県 |

|        |     |
|--------|-----|
| ボート    | 埼玉県 |
| ハンドボール | 熊本県 |
| 自転車    | 滋賀県 |

##### ●パラリンピック競技

|           |     |
|-----------|-----|
| ボッチャ      | 大阪府 |
| パワーリフティング | 京都府 |
| 車いすフェンシング |     |

|          |     |
|----------|-----|
| 身体障がい者水泳 | 奈良県 |
| 自転車      | 山口県 |

2 期生における対象競技及び競技拠点県(委託先)については、1 期生で設定した各団体を対象に実施した書面や面談等による意向確認の結果、以下のとおり設定する。

【2 期生】

●オリンピック競技

|              |     |
|--------------|-----|
| 水泳(飛込)       | 新潟県 |
| ウエイトリフティング   | 山梨県 |
| 7 人制ラグビー(女子) | 北海道 |

|            |     |
|------------|-----|
| ソフトボール(女子) | 高知県 |
| ボート        | 埼玉県 |
| ハンドボール(女子) | 熊本県 |

●パラリンピック競技

|           |     |
|-----------|-----|
| ボッチャ      | 大阪府 |
| パワーリフティング | 京都府 |
| 車いすフェンシング |     |

|          |     |
|----------|-----|
| 身体障がい者水泳 | 奈良県 |
| 自転車      | 山口県 |

8. 実施方法

公益財団法人日本スポーツ協会が対象競技の中央競技団体等と協力して実施するほか、都道府県体育・スポーツ協会等に事業の一部を委託する。委託に関する詳細は、「競技拠点県再委託要項」及び「測定会再委託要項」に定める。

# ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト(J-STAR PROJECT) 2期生 実施概要

資料No.16-2

2018.6.14現在



NFの強化・育成  
コースへ

## 第3ステージ (検証)

オリ:2018.12~  
2019.10  
パラ:2018.11~  
2019.10

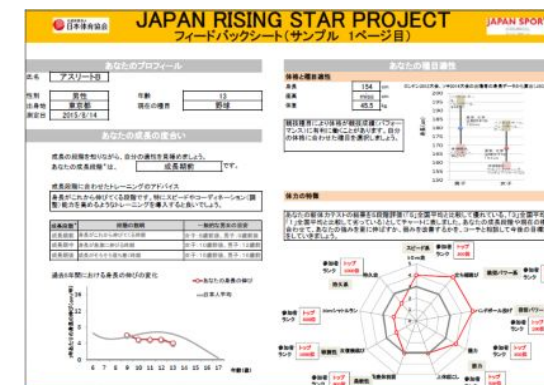
## 実施競技・競技拠点県

| オリンピック競技(6)     | パラリンピック競技(5)  |
|-----------------|---------------|
| 水泳(飛込)/新潟県      | ボッチャ/大阪府      |
| ボート/埼玉県         | 身体障がい者水泳/奈良県  |
| ウエイトリフティング/山梨県  | パワーリフティング/京都府 |
| ハンドボール(女子)/熊本県  | 車いすフェンシング/京都府 |
| 7人制ラグビー(女子)/北海道 | 自転車/山口県       |
| ソフトボール(女子)/高知県  |               |

## 参加者へのフィードバック

### ○測定結果の分析

- ・体力の特徴、全国平均との比較
- ・適性のある競技種目
- ・上達するためのトレーニング方法



### ○居住地区近隣の練習環境等の情報を提供

### ○当該者の情報は

- ・対象競技以外の競技(NF)において選手発掘に活用可能
- ・都道府県体育(スポーツ)協会の国体強化に向けた取り組み等で活用可能

## 第2ステージ (測定会)

オリ:2018.9.22~11.25  
パラ:2018.9.8~11.4

## 第1ステージ (応募)

オリ:2018.7.2~9.3  
パラ:2018.7.2~8.27

## 3. NFと地域(県体協)が協働して検証プログラムを実施

### オリンピック:6道県、パラリンピック:4府県

- ・NFによる体系的な検証プログラム
- ・世界レベル強化環境(指導者、施設)でのトレーニング
- ・合宿形式など集中的なトレーニング
- ・大会参加によるスキル獲得状況の把握
- ・面談(競技・環境・決意の確認)
- ・指導者との情報交換

- ※以下のような地域プログラムを併せて実施
- ・地域の指導者向け講習会
  - ・地域の参加者を対象とした講習会

## 2. 全国各地域で測定会(オリは2段階)を実施

### 測定会2:オリンピック 1会場

約100名  
(各NF10~20名)

- 【測定:専門項目】  
各対象競技の適性を評価するための専門的な測定項目

### 測定会1:オリンピック 9会場

約1,800名  
(各会場200名)

- 【測定:基本項目】  
・パワー・スピード系  
・持久系  
・その他(各対象競技の適性を評価可能な基礎的項目)

### パラリンピック 5会場

- 【測定:専門項目】  
各対象競技の適性を評価するための専門的な測定項目

- 〈対象競技〉  
・ボッチャ・水泳(身体障がい者)  
・パワーリフティング  
・車いすフェンシング・自転車

- 〈対象競技〉  
・水泳(飛込)・ボート  
・ウエイトリフティング  
・ハンドボール(女子)  
・7人制ラグビー(女子)  
・ソフトボール(女子)

## 1. オンラインフォームへ入力

### オリンピック

12歳~17歳  
(中・高生)

- ・運動能力測定結果(新体力テストなど)
- ・形態測定値(身長、体重)等

### パラリンピック

12歳~  
(中学生以上)

- ・障害種別
- ・スポーツ歴
- ・運動能力測定結果(任意)
- ・自己PRムービー(任意)



# 新たな競技へ チャレンジ!

# 待ってる、世界。

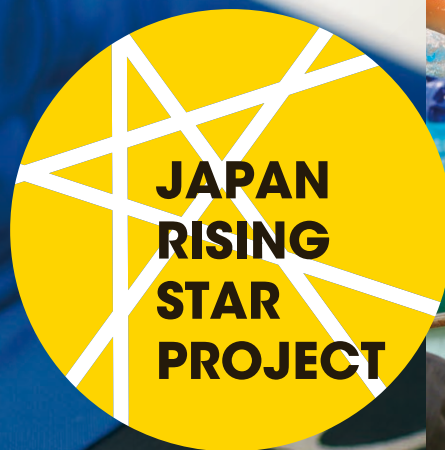


▶ **7月2日(月)**  
**エントリー受付開始**

エントリー締切日 オリンピック:9月3日/パラリンピック:8月27日

詳しくはwebで!

<http://www.j-star.info/>



## オリンピック・パラリンピックで活躍するアスリートを発掘 「J-STARプロジェクト」



スポーツ庁  
スポーツ庁

**JAPAN SPORT  
COUNCIL**  
日本スポーツ振興センター

独立行政法人日本スポーツ振興センター



公益財団法人日本オリンピック委員会



公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会



公益財団法人  
**日本スポーツ協会**

公益財団法人日本スポーツ協会

独立行政法人日本スポーツ振興センター委託事業 アスリートパスウェイの戦略的支援 (地域ネットワークを活用したアスリート育成パスウェイの整備)

問合せ先 公益財団法人 日本スポーツ協会 国体推進部競技支援課 J-STAR プロジェクト事務局 Tel: 03-3481-2453 Fax: 03-3481-2284 Mail: j-star@japan-sports.or.jp

# JAPAN RISING STAR PROJECT

世界で輝け未来のトップアスリート

## 2018年7月2日(月)から エントリー受付開始!

「J-STARプロジェクト」では、.....

- ★スポーツが大好きな人
  - ★体力に自信がある人
  - ★将来オリンピック・パラリンピックに出場してみたい人
  - ★いま取り組んでいる競技以外の競技もやってみたい人
- を募集します!

エントリーは  
こちら!



<http://www.j-star.info/>

### 第1ステージ(応募/webエントリー)

#### オリンピック競技 7月2日(月)～9月3日(月)

【対象年齢】中学生・高校生年代(満12歳～満17歳:2018年4月1日現在)

【対象6競技】水泳(飛込) ハンドボール(女子)  
ボート 7人制ラグビー(女子)  
ウエイトリフティング ソフトボール(女子)

【準 競 技】ボブスレー・スケルトン

※準競技:第2ステージ(測定会)に強化担当者(評価者)が出向き、競技紹介や面談、クラス分けの説明を実施(専門項目の測定は行いません)。後日、有望者に対し、オンラインシステムを通じてスカウトを行います。  
なお、第3ステージ(検証)での対応は行わず、各競技団体において、独自の強化・育成コースでの対応を行います。

#### パラリンピック競技 7月2日(月)～8月27日(月)

【対象年齢】中学生年代以上(満12歳以上:2018年4月1日現在)

【対象5競技】ボッチャ パワーリフティング 自転車  
水泳(身体障がい) 車いすフェンシング

【準 競 技】陸上競技(身体障がい) トライアスロン スキー  
射撃 アイスホッケー

### 第2ステージ(測定会) <2018年9月～2018年11月>

第1ステージ通過者に対し、オリは測定会Ⅰで基本項目、測定会Ⅱで専門項目、パラは専門項目の測定を実施。競技団体の強化担当者(評価者)が競技適性を評価し、第3ステージ進出者の選考を行います。

#### オリンピック競技

【測定会Ⅰ】全国9会場 札幌国際大学 10/21(日) 大阪体育大学 11/ 3(土)  
仙台大学 10/27(土) 広島大学 11/10(土)  
立教大学(東京) 11/11(日) 高知県民体育館 10/28(日)  
金沢星稜大学 10/14(日) 福岡大学 10/13(土)  
岐阜メモリアルセンター 9/22(土)

【測定会Ⅱ】東京会場 日本体育大学(東京) 11/24(土)、25(日)

注1)対象競技(オリ6競技・パラ4競技)についてはすべての会場に評価者がいます。なおパラの水泳(身体障がい)については、岐阜メモリアルセンターを除く4会場となります。  
注2)上記注1の他、オリのボブスレー・スケルトンは計5会場(札幌、仙台、東京、大阪、広島)、パラの陸上競技(身体障がい)、射撃、トライアスロン、アイスホッケー、スキーは全5会場に評価者がいます。ただし、これらの競技(準競技)については第3ステージ(検証)の設定はありません。

#### パラリンピック競技

【測定会】全国5会場  
仙台大学 10/28(日)  
横浜ラポール 10/21(日)  
岐阜メモリアルセンター 9/23(日)  
大阪体育大学 11/ 4(日)  
アクション福岡 9/ 8(土)

### 第3ステージ(検証) <2018年12月～2019年10月>

第2ステージ通過者は1年間、全国各地の競技拠点県において対象競技に関するトップレベルの指導を受けながら、競技団体の強化・育成コースへの進出を目指します。

#### オリンピック競技

##### 【対象競技・競技拠点県】

水泳(飛込) 新潟県 ハンドボール(女子) 熊本県  
ボート 埼玉県 7人制ラグビー(女子) 北海道  
ウエイトリフティング 山梨県 ソフトボール(女子) 高知県

#### パラリンピック競技

##### 【対象競技・競技拠点県】

ボッチャ 大阪府 車いすフェンシング 京都府  
水泳(身体障がい) 奈良県 自転車 山口県  
パワーリフティング 京都府

検証終了後、有望選手は競技団体の強化・育成コースへ!

お問い合わせは  
こちら



公益財団法人  
日本スポーツ協会

公益財団法人 日本スポーツ協会 J-STARプロジェクト事務局

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館2階

TEL:03-3481-2453 FAX:03-3481-2284 E-mail:j-star@japan-sports.or.jp

## 平成 30 年度 国民体育大会委員会・国体検討小委員会等開催日程

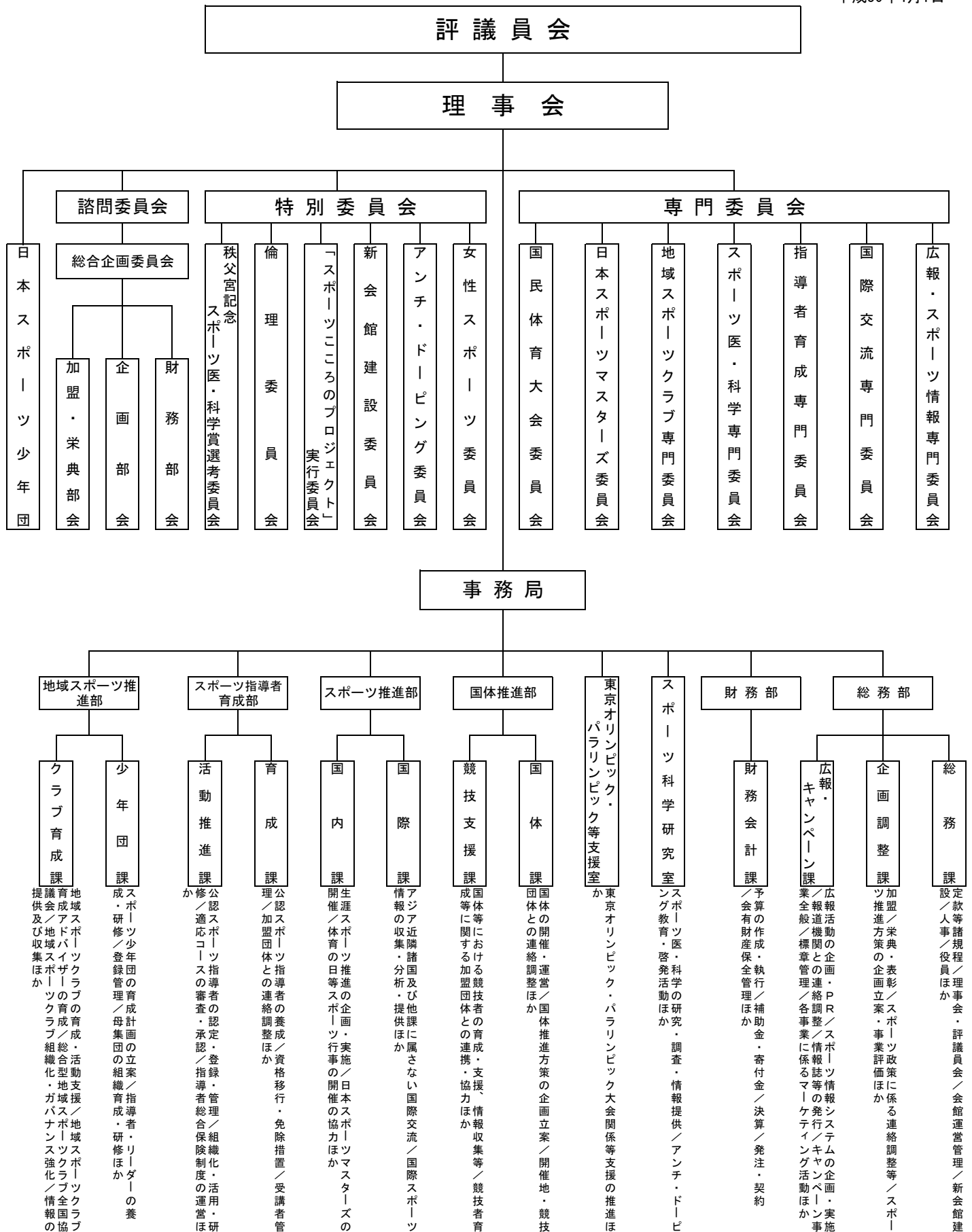
2018. 6. 14 現在

| 月 日                             | 時 間  | 会 場          | 会 議 名          | 出席者   |       |      |         |        | 備 考                                                                                  |
|---------------------------------|------|--------------|----------------|-------|-------|------|---------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------|
|                                 |      |              |                | 国体委員  |       |      | 競技運営部会員 | 都道府県体協 |                                                                                      |
|                                 |      |              |                | 正副委員長 | 検討小委員 | 国体委員 |         |        |                                                                                      |
| 平成 30 年(2018 年)<br>5 月 10 日 (木) | 14 時 | 理事・監事室       | 第 1 回国体検討小委員会  | ○     | ○     |      |         |        | 4/13(金) 加盟団体事務局長会議<br>4/20(金) 第 1 回理事会                                               |
| 6 月 7 日 (木)                     | 14 時 | 504・505 号会議室 | 第 1 回国体競技運営部会  | ○     |       |      | ○       |        | 6/ 6(水) 第 2 回理事会                                                                     |
| 6 月 14 日 (木)                    | 11 時 | 理事・監事室       | 第 2 回国体検討小委員会  | ○     | ○     |      |         |        | 6/22(金) 定時評議員会                                                                       |
|                                 | 14 時 | 理事・監事室       | 第 1 回国民体育大会委員会 | ○     | ○     | ○    |         |        |                                                                                      |
| 7 月 19 日 (木)                    | 14 時 | 理事・監事室       | 第 3 回国体検討小委員会  | ○     | ○     |      |         |        | 7/18(水) 第 3 回理事会<br>8/ 1(水) IH 総合開会式<三重>                                             |
| 8 月 30 日 (木)                    | 11 時 | 理事・監事室       | 第 4 回国体検討小委員会  | ○     | ○     |      |         |        | 【国体・本大会】福井<br>会期前 9/9(日)～17(月)<br>本会期 9/29(土)～10/9(火)<br>自転車 9/25(火)～9/29(土)         |
|                                 | 14 時 | 理事・監事室       | 第 2 回国民体育大会委員会 | ○     | ○     | ○    |         |        |                                                                                      |
| 11 月 16 日 (金)                   | 14 時 | 理事・監事室       | 第 5 回国体検討小委員会  | ○     | ○     |      |         |        | 11/8(木) 第 4 回理事会                                                                     |
| 12 月 13 日 (木)                   | 11 時 | 理事・監事室       | 第 6 回国体検討小委員会  | ○     | ○     |      |         |        |                                                                                      |
|                                 | 14 時 | 理事・監事室       | 第 3 回国民体育大会委員会 | ○     | ○     | ○    |         |        |                                                                                      |
| 平成 31 年(2019 年)<br>1 月 17 日 (木) | 14 時 | 理事・監事室       | 第 7 回国体検討小委員会  | ○     | ○     |      |         |        | 1/16(水) 第 5 回理事会<br>【国体・冬季大会】北海道<br>スケート・アイスホッケー 1/30(水)～2/3(日)<br>スキー 2/14(木)～17(日) |
| 3 月 1 日 (金)                     | 11 時 | 理事・監事室       | 第 8 回国体検討小委員会  | ○     | ○     |      |         |        | 3/ 8(金) 第 6 回理事会<br>3/20(水) 臨時評議員会<br>(秩父宮記念スポーツ医・科学賞表彰式)                            |
|                                 | 14 時 | 理事・監事室       | 第 4 回国民体育大会委員会 | ○     | ○     | ○    |         |        |                                                                                      |
| 3 月 20 日 (水)                    | 10 時 | 504・505 会議室  | 都道府県体育協会国体連絡会議 | ○     |       |      |         | ○      |                                                                                      |

・国体委員懇談会等については必要に応じて開催。

公益財団法人日本スポーツ協会 組織図

平成30年4月1日～



# 国民体育大会の名称変更について

2018/6/14

|      | 現行                                                                                                     | 改定                                                                                                                                                  |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 大会名称 | <p>「国民体育大会」</p> <p>正式名称 ◇国民体育大会冬季大会 (冬季大会のこと)<br/>◇国民体育大会 (本大会のこと)</p> <p>※「国民体育大会開催基準要項 4.名称」にて規定</p> | <p><b>「国民スポーツ大会」</b></p> <p>※改正「スポーツ基本法」記載の大会名称とする</p> <p>正式名称 ◇国民スポーツ大会冬季大会 (冬季大会のこと)<br/>◇国民スポーツ大会 (本大会のこと)</p> <p>※「国民体育大会開催基準要項 4.名称」にて規定予定</p> |
| 英語表記 | <p>「NATIONAL SPORTS FESTIVAL」</p> <p>※「国民体育大会開催基準要項 17.大会の標章」にて規定</p>                                  | <p><b>「JAPAN GAMES」</b></p> <p>※「国民体育大会開催基準要項 4.名称」にて規定予定</p>                                                                                       |
| 略 称  | <p>「国体(こくたい)」</p> <p>※「国民体育大会開催基準要項 17.大会の標章」にて規定</p>                                                  | <p><b>「国スポ(こくすぽ)」</b></p> <p>※「国民体育大会開催基準要項 4.名称」にて規定予定</p>                                                                                         |
| その他  |                                                                                                        | <p>※回数:1946年開催の第1回大会からの回数を継続(通算回数)</p> <p>※適用大会(年):2023年開催の第78回大会(冬季:未定、本大会:佐賀県)から適用</p>                                                            |